



## 留学生・留学体験紹介



FROM



出身国

アルジェリア

マクレルーフイ・ケイラ

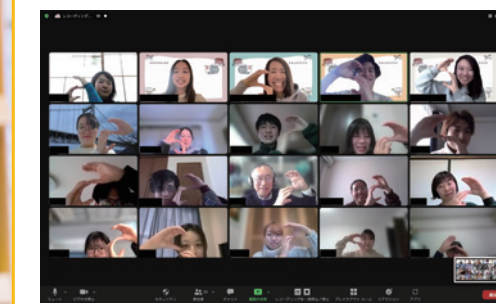
Makreloufi Kheira さん  
(自然科学研究科 博士前期課程 2年)



1.研究室の日本人学生と一緒に。みんな夜遅くまで研究室で勉強しているそうです。2.国際センターの青先生宅にて。地域の子供たちと一緒に映画の撮影に参加しました。

## 「グローバルイシュー実践海外研修」に参加

オンラインでの受講風景



オンライン研修

カンボジア

ふくま り ゆい  
福万 結子さん  
(生物資源科学部 環境共生科学科 2年)

新たな気づきと貴重な出会いがたくさん！  
自己表現力の向上を実感できた

2月7日〜16日までの8日間、カンボジアのNPO法人SALASUSUの研修に参加しました。留学の経験はありませんでしたが、多くの人とのディスカッションを通じて多様な意見に触れ、自分の内面を表現する力をも身につけたいと考え、参加を決めました。また、資料やネットから得た知識ではなく、生の情報を知ること、固定観念をこわしたいとの想いもありました。

研修は2部編成で、前半はSALASUSUのカンボジア人スタッフの方との交流や、現地のNGOで活躍されている方の話を聞き、後半は自分の人生にフォーカスを当て、自分の人生曲線や価値観を発表し、その発表を基に意見を交わしました。

初日は緊張気味でしたが、発言しやすい環境をスタッフさんが作ってくくださったので、2日目以降は思ったことを素直に話せましたし、連日のディスカッションで自己表現力が上がったと実感できました。最終日には初日からは考えられないような積極性と一体性が感じられ、研修が終わるのがとても寂しく感じました。「無知の知(知らないことを自覚すること)」の大切さを知り、そこから好奇心を持って、素直に質問したり、疑問を持って考えたりすることができた研修になりました。

グローバルイシュー実践海外研修(カンボジア)とは？  
カンボジアの女性支援を行うNPO法人SALASUSUと連携した研修です。カンボジアとオンラインで繋いで開発途上国の援助の現場や体験を聞き、異なる価値観を持つ社会の中で積極的に行動する力や判断力やコミュニケーション力を養い、国際社会が抱える課題に対する解決への基礎能力を身に付けることを目的としています。昨年に続きオンラインで実施され、15名の学生が参加しました。

周囲の手厚いサポートに感謝  
今後はもっと交流を深めたい

日本語は独学で、日本のドラマを見たり、日本人アーティストの曲を聞き、歌詞を覚えたりして学びました。大学卒業後、仕事をしながらお金をため、いつか日本に行きたいと思っていた時に奨学金制度の存在を知り、念願だった日本への留学が叶いました。

現在はジャスミン茶の成分について研究しています。お茶に含まれる成分それぞれに、どのような効果があるのか実験を繰り返しています。研究室の学生はもちろん、先生方もとても丁寧にサポートしてくれます。学生の意欲を後押ししてくれる環境は、母国ではなかったことなので本当に満足しています。日本に来たらいろいろな人と交流したいと思っていましたが、コロナ禍でなかなか実現できていません。少しでも状況が改善すれば、いろいろな場所に出かけて交流したいと思っています。

### 留学生と地域とのつながりこの1年

島根大学国際センター長 青晴海

2021年度はコロナ禍ではありましたが、留学生と地域の方々とのつながりがさらに深まった1年となりました。

留学生を中心に結成されたクリケットチームは、毎月地域の方々との交流会や小学校での練習会を開催しています。また、留学生と地域住民による空き家の整備など、地域の課題への取り組みも始まっています。

このような活動を通じ、地域をより深く知ること、留学生がここに住みたいと感じ、地域で仕事を探すきっかけとなることも期待しています。

今後も、島根大学と地域のグローバル化の推進に努めてまいります。

国際センターHP  
はこちら。

